

藏内勇夫日本獣医師会会長：世界獣医師会次期会長に選任 !!

令和6年3月13日（水）（公社）日本獣医師会は、**藏内勇夫日本獣医師会会長・アジア獣医師会連合（FAVA）会長が次期世界獣医師会（WVA）会長に選任されたことを発表**しました。

令和6年3月13日

日本獣医師会プレスリリース

報道機関等 各位

「世界獣医師会次期会長への就任」

藏内勇夫日本獣医師会会長が日本人で初めて世界獣医師会次期会長に就任

公益社団法人 日本獣医師会

世界獣医師会（WVA）は本年2月に2年に1度の「次期会長」の選挙を実施しました。当選者は次期会長、会長、前会長としてそれぞれ2年間、計6年間の任期を務めます。藏内氏は日本人で初めて次期会長に当選し、4月16日に南アフリカで開催されるWVA総会で正式に次期会長に就任いたします。

WVAは1959年（前身の団体は1853年から活動）に設立されました。70カ国・地域の獣医師会や獣医学会が加盟する獣医師会の団体です。WVA戦略計画（2020-2025）を策定し、ワンヘルス・獣医学教育・動物福祉・動物用医薬品管理を優先課題として活動しております。

現役員は、ラファエル・ラガンズ会長（スペイン：元欧州獣医師会連盟会長）、ジョン・デ・ヨン次期会長（米国：元米国獣医師会会長）ら17名です。

（参考）藏内氏の国内外獣医師会会長としての経歴

H25年（2013）～ （公社）日本獣医師会会長

R4年（2022）～ アジア獣医師会連合（FAVA）会長



【藏内勇夫会長：コメント】

これまで、アジア獣医師会連合の会長として、アジア、オセアニア地域を中心に活動する中で、次なる人獣共通感染症の発生の可能性が高い地域の一つがアジアであると痛感しました。

今回の世界獣医師会会長選挙に際しては、アジア各国から、ぜひ、私がこれまで行ってきたワンヘルスを世界に広めてほしい、という強い要望を受け、世界獣医師会職を目指すこととしました。

今後、私は、世界獣医師会の次期会長、会長、前会長として役割を果たしていくこととなります。

貧困、経済格差の解消こそがワンヘルスの原点であり、これをなくして地球を救うことはできません。

今、世界が直面している地球温暖化、森林破壊などの深刻な環境問題は、全て人間の仕業である。このかけがえのない地球を未来の子供たちに確実に引き継ぐためにも、私の人生をかけて、世界においてワンヘルスを進めてまいります。

【服部誠太郎知事：コメント】

福岡県議会議員であり、（公社）日本獣医師会およびアジア獣医師会連合の会長である藏内勇夫氏の次期世界獣医師会（WVA）会長選のご当選を心からお慶び申し上げます。本県から、我が国初めての世界獣医師会の会長が誕生することは、福岡県民としても心から誇りとするところです。

藏内会長は、長年にわたりライフワークとしてワンヘルスの推進に取り組まれており、「人獣共通感染症や薬剤耐性対策にとどまらずワンヘルスの理念を広げ、持続可能で健康的な人間社会と環境を創造することを目指す」という強い使命感から、同会長に立候補されました。

このような理念を持たれた藏内会長のもとで、世界中の獣医師が団結し、医療や環境分野と協調しながら世界規模でワンヘルスを推進していくことは、ワンヘルスを推進する本県としましても、大変心強い限りです。

藏内会長の一層の御活躍と世界獣医師会の益々の御発展を祈念いたします。



【林芳正内閣官房長官：コメント】

日本獣医師会会長の藏内勇夫氏が日本人で初めて世界獣医師会の次期会長に選出された旨、公表されたものと承知をしております。

藏内氏は、日本獣医師会会長として、人と動物の健康と環境の保全を包括的に捉えたワンヘルスアプローチの取組みを推進し、一昨年には、アジア獣医師会会長にも選任されるなど、国際的に高い評価を得ている方と承知をしております。

この度、藏内氏が世界獣医師会の次期会長になられることは、大変喜ばしいことであり、日本からアジア、そして世界に向けた日本の存在感を高めていただけるように、今後のご活躍をご期待申し上げます、そういうふうと考えております。

(首相官邸ホームページより)

2024年3月14日

福岡ワンヘルス協議会・事務局